

農業土木事業協会セメント製品 部門部会長就任にあたって

株式会社 北陽

代表取締役社長 丸谷 法彦



2024（令和6）年度の今期より、農業土木事業協会のセメント製品部門部会長を拝命する事になりました。どうかよろしく願いいたします。

2022（令和4）年11月10日に農村振興局整備部設計課長より、「コンクリート構造物におけるプレキャストコンクリート製品の導入促進について」が発出され、搬入可能なコンクリート構造物は原則としてプレキャスト製品を採用する方針が通知されました。セメント製品部門の会員会社であるプレキャストメーカーにとって願ってもない追い風が吹いているわけですが、このような状況下での部会長就任は、大変な重責であり、舵取りをまちがえぬよう、精一杯この任務を果たすべく邁進していきたいと思っております。

さて、個人的な話で恐縮ですが、株式会社北陽に営業として入社し40年が経ちます。弊社の扱う商品は土木資材全般ですが、主に農業用の水路に関する資材を扱っており、開渠や暗渠、パイプラインなど、ほぼすべての水路構造物に係る資材の供給が可能となっております。そして、このような会社において、主にプレキャストコンクリート製品を中心に土木資材の販売をしてきました。そして、数多くの取り扱い経験がある中で忘れられない出来事が、工事中の水路用L型を2回、浮力の影響により浮かせてしまったことでした。原因は何点かあったのですが、一番の原因は深夜に降り続いた大雨により設置していたウィープホールの能力を上回る降雨量があり、浮力計算上の背面水位を超えてしまったことでした。また、1回は背面の埋め戻しの作業が途中のまま放置されたところに大雨が降った現場でした。いずれも自然の恐ろしさを製品を通して知り、安定計算等に万全を期した上でのプレキャスト製品といえども、自然の前では完全ではないことを知った次第です。

このようにプレキャストコンクリート製品は、施工性などの良い面が多くある一方、工事中の取り扱い留意点もあります。これらの必要事項を施工業者へ正しく伝えていくことを含め、採用促進に向けて努めていければと思っております。

事業協会セメント製品部門は他の部門と違い、製品について独自の規格を持っている部門です。土地改良事業は、主に非かんがい期に工事を完了させる必要があります。また降雪地域ではさらに短期間で工事を進める必要があります。このようなことから工期短縮や作業効率化のため以前から現場打ちからプレキャスト化する事を積極的に提案してきました。そして、この方向性は今後も変わらないと思いますし、令和4年に出された通知にあるように、近年の工事現場における技能者不足などの課題に対応し、更なる生産性の向上・工期の短縮・施工管理の負担軽減・安全性の向上など工

事現場の環境改善が強く求められています。

今後は、この通知を各事務（業）所・コンサルタント会社に浸透させ実践を徹底していただけるよう、現場におけるプレキャストコンクリート製品の導入を支援する為、技術研修などの取り組みの機会や、農業農村整備事業に活用された各社の活用事例集やガイドラインなど、技術参考資料の作成や普及の機会があれば積極的に参加・協力させていただきたいと思っています。

食料・農業・農村基本法が改正され、農業生産基盤の見直しが必要となってきます。

農業就労人口の減少を少しでもカバーできるような農作業の省力化や、スマート技術の活用など生産性の高い農業生産基盤への改良・改革にプレキャストコンクリート製品の活躍の場が今後益々広がることを期待しています。

これからの農業農村整備事業の更なる進展の一助となるべく、農業土木事業協会セメント製品部門部会長の任を務めさせていただきたいと思っておりますのでどうかよろしく願いいたします。